

セットアップガイド

Wi-Fi SD カードリーダー (スマホ充電機能付)
型番: REX-WIFISD1X

2015年10月 第1.0版

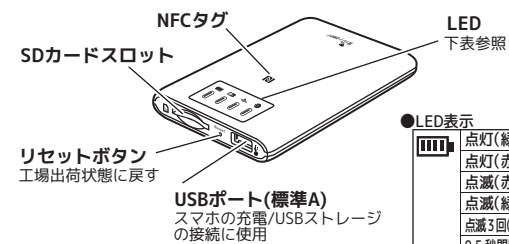
ご使用前に

内容物の確認

内容物は次の4点です。内容物に不足がある場合は、お手数ですが弊社サポートセンターまたは販売店までご連絡ください。

- ①本体 ②セットアップガイド(本紙) ③保証書
- ④USB ケーブル(USB Micro-B⇔USB 標準 A)×1 ※本体充電 / パソコン接続用

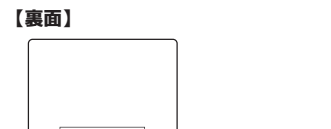
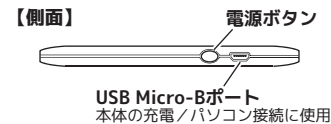
各部の名称



●LED表示

点灯(緑)	電源ON: 残量30%以上
点灯(赤)	電源ON: 残量30%未満
点滅(赤)	電源ON: 残量10%未満
点滅(緑)	本体充電中
点滅3回(赤)	残量なし
0.5秒間隔点滅(緑)	シャットダウン処理中
消灯※1	電源OFF/本体充電終了※2
点灯(青)	SDカード認識中
点滅(青)	リード/ライト時に点滅
消灯	SDカード未接続
点灯(青)	Wi-Fi準備完了
点滅(青)	Wi-Fi準備中
消灯	SDカード・USBストレージ認識中
消灯	Wi-Fi OFF
点灯(緑)	インターネット接続中
消灯	インターネット未接続

※1. USBポート(標準A)にUSBストレージを接続している場合、常に点灯(緑)します。
※2. パソコンに接続して充電する場合、終了後は点灯(緑)になります。



SSID、Wi-Fi Password、User Password

SSID	: WIFISD1X-XXXX(英数字4桁)
Wi-Fiパスワード	: XXXXXXXX(英数字8桁)
ユーザーパスワード	: XXXXXXXX(英数字8桁)

※NFCタグにSSIDとWi-Fiパスワード情報が埋め込まれています。
Wi-Fiパスワードを変更した場合、NFC接続は使用できません。

本紙の表記

本文ではiPhoneやAndroidスマートフォン、タブレットなどを「スマホ」と記載しています。また、記載内容(仕様、名称、画面など)は変更されている場合があります。最新の製品情報、使い方の詳細は、下記アドレス(または右記QRコード)にアクセスしてご確認ください。

製品情報ページ
<http://www.ratocsystems.com/products/subpage/wifisd1x.html>

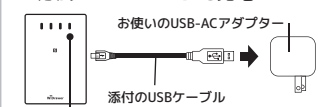


本体の準備

1 充電する

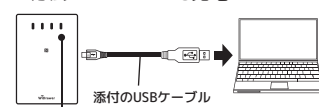
はじめてお使いになるときは本製品を充電してください。

<方法1: コンセントで充電>



充電中: 点滅(緑)
充電完了: 消灯

<方法2: パソコンで充電>



充電中: 点滅(緑)
充電完了: 点灯(緑)

●充電時間の目安 (使い切った状態から満充電になるまでの弊社テストによる)

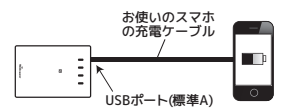
コンセントで充電	Apple 12W USB電源アダプター使用	約2.5時間 (2.1A)
	Apple 5W USB電源アダプター使用	約4時間 (1A)
	その他ACアダプター使用	約7時間 (500mA)
パソコンで接続		約7時間 (500mA)

- 注意**
- コネクタは正しい向きで接続 / 取り外してください。誤った向きに接続 / 取り外しすると故障や破損の原因になります。うまく接続できないときは、無理に押し込まず、接続部を十分に確認してからコネクタをまっすぐ接続してください。
 - 充電中、異常を感じたら直ちに使用を中止してください。



モバイルバッテリーとしての使用

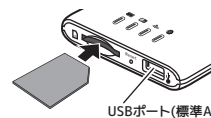
スマホやデジカメなどのUSB充電に対応した機器を充電できます。(最大出力:1A)
※本体の電源は入でも切でも充電できます。



2 SDカードを挿入する

SDカードの挿入方向を確認しカチッと音がするまでまっすぐにしっかりと差し込みます。

※USBストレージを使用する場合は、USBポート(標準A)に接続してください。



3 電源を入れる/切る

●電源を入れる

電源ボタンを長押し(3秒間)します。LED(📶🔴🟢)が点灯します。
※SDカードを挿入していない場合、🔴🟢は点灯しません。

●電源を切る

電源ボタンを長押し(3秒間)します。すべてのLEDが消灯していることを確認します。
※本製品にUSBストレージを接続している場合、🟢は点灯したままです。

スマホの準備

1 スマホの「Wi-Fi」をオンにする

スマホの【設定】→【Wi-Fi】をタップし、「Wi-Fi」をオンにします。
※機種によってWi-Fi設定の表示位置が異なります。お使いの機種の取扱説明書をご参照ください。
※次の手順でアプリをインストールするため、インターネットに接続されている必要があります。

2 「NFC」または「手動」で接続する

専用アプリ「WiDrawer2」のインストールと、スマホのWi-Fi接続をおこないます。次のどちらかの方法でおこなってください。

●方法1: NFCで接続する (NFC対応Androidスマホをご使用の場合)

※スマホのNFC設定をOFFにしている場合はONにしてください。

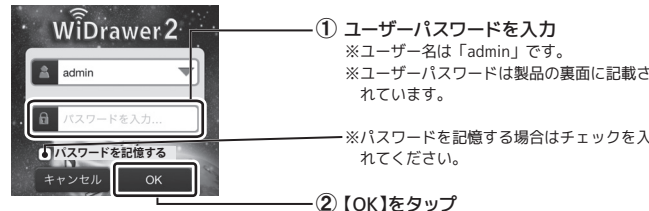
- ① 製品表面のNFCタグにスマホのNFC通信をおこなうマーク部分をタッチ
- ② 自動表示された「WiDrawer2」インストールページで【インストール】をタップ
- ③ インストール後、製品表面のNFCタグに再度タッチ
- ④ 「WiDrawer2」が自動起動
- ⑤ しばらくするとWi-Fi接続に成功
※「WiDrawer2」製品に接続できません。のメッセージが表示された場合、【キャンセル】をタップし、しばらく待つと接続されます。

●方法2: 手動で接続する

- ① AppStoreまたはGoogle Playに接続
- ② キーワード「WiDrawer2」で検索
- ③ 「WiDrawer2」をインストール
- ④ スマホのホーム画面で【設定】→【Wi-Fi】をタップ
- ⑤ 表示されたネットワーク一覧から本製品のSSID[WIFISD1X-XXXX]をタップ
※XXXXは4桁の英数字です。
- ⑥ Wi-Fiパスワードを入力し【接続】をタップ
※Wi-Fiパスワードは「製品の裏面」に記載があります。
- ⑦ スマホのホーム画面で【WiDrawer2】をタップ

3 本製品にログインする

ログインパスワードの入力画面が表示されます。



4 自動的に本製品とWi-Fi接続される

「WiDrawer2」のホーム画面



Wi-Fi接続が完了すると、「オンライン」と表示されます。

●本製品とWi-Fi接続するとお使いのスマホのインターネット接続が切断されます
本製品と同時にインターネット接続も使用される場合は本紙右端に記載の「4. インターネットブリッジの設定」をおこなってください。

5 DLNA対象フォルダーを設定する

初期設定ではDLNA対象フォルダーにファイルは入っていません。本紙右端に記載の「5. DLNAサーバーとして利用する」を参照し、DLNA対象フォルダーを追加してください。

●本製品をDLNAサーバーとして利用しない場合は『設定不要』です



以上で、本製品を使用できます。

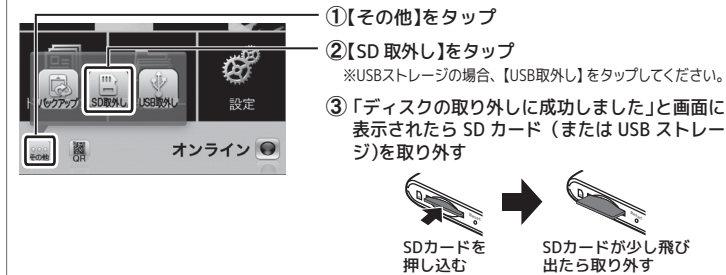
次回からの使用方法

次回からは次の手順で本製品に接続してください。

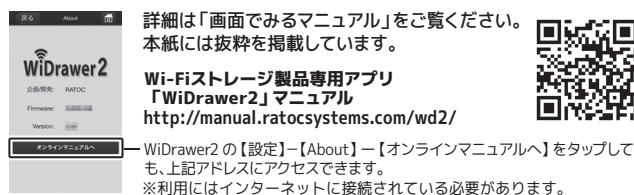
- NFC対応Androidスマホの場合
NFCタグにタッチし、ログインするだけで使用できます。
- NFC以外で使用する場合
① スマホの【設定】→【Wi-Fi】→「Wi-Fi」をオン
※機種によってWi-Fi設定の表示位置が異なります。お使いの機種の取扱説明書をご参照ください。
② 表示されたネットワークの一覧から本製品のSSIDをタップ
③ 「WiDrawer2」を起動しログインする

SDカード(またはUSBストレージ)の取り外しは手順に従ってください

本製品の電源を入れたまま、SDカード(またはUSBストレージ)を取り外す場合は、下記の取り外し手順に従ってください。異なる手順で無理に取り外すと、データを破損することがあります。
※本製品の電源をOFFにしてから取り外す場合は、以下の手順は不要です。



専用アプリ「WiDrawer2」やその他の操作



1. 自動ファームウェアアップデート

専用アプリ「WiDrawer2」が新しいバージョンを検出すると、更新の確認メッセージを表示します。続行の場合は【OK】をタップし、画面の指示に従ってください。
※利用には「インターネットブリッジの設定」が必要です。

2. 本製品のリセット

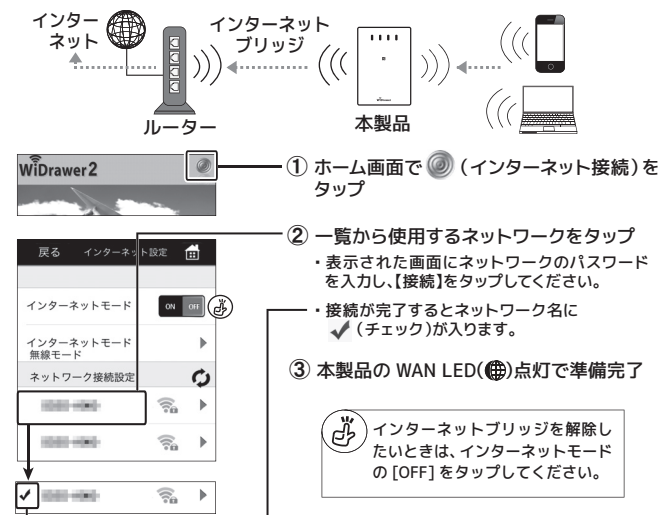
- 次の手順でリセットすると、設定を工場出荷設定に戻せます。
1. 本製品の電源ボタンを長押し(3秒間)し、電源を入れます。
 2. 先の細いもので本体側面にあるリセットボタンを長押し(3秒間)し、離します。
 3. しばらくするとWi-Fi LED(📶)が点滅に変わります。
 4. Wi-Fi LED(📶)が点灯になると、リセットは完了です。

3. Guestアカウントを利用する

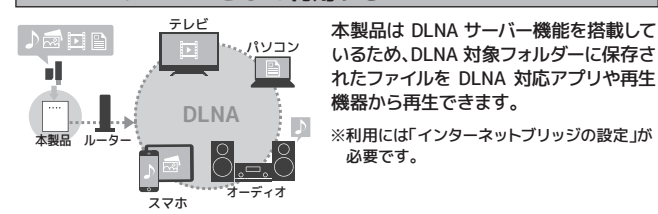
来訪者や外部の利用者にユーザー名「guest」でログインしてもらくと、SDカードやUSBストレージ内のShareフォルダーだけにアクセスを限定できるようになります。
※Guestアカウントを有効にするには、ホーム画面で【設定】→【Guest】の【ON】をタップしてください。

4. インターネットブリッジの設定

本製品をルーターに接続するための設定です。Wi-Fiの接続先を切り替える手間無く、本製品とインターネットの両方に接続できるようになります。
※iPhoneのデザリングには設定できません。



5. DLNAサーバーとして利用する



- お買い上げ時のDLNAサーバー設定
DLNAサービス: ON (有効)
DLNAサーバー名: DLNA-「本製品のSSID」
DLNA対象フォルダー: SDCard_Volume1/Share ※フォルダーは自動生成されます。
※DLNAサーバーの設定を変更するには、ホーム画面で【設定】→【Wi-Fiストレージ設定】→【LAN設定】→【DLNAサービス】にアクセスし、設定を変更後、【適用】をタップしてください。

<注意>
DLNA対象フォルダー内のすべてのファイル数...10,000ファイルまで
1フォルダー内のファイル数.....1,000ファイルまで
16GB以上のSDカードやUSBストレージを使用する場合、DLNA対象フォルダー内のファイル数が上限を超える可能性があります。設定時は指定するフォルダー内のファイル数にご注意ください。本製品の動作が遅くなる、または停止する原因となります。

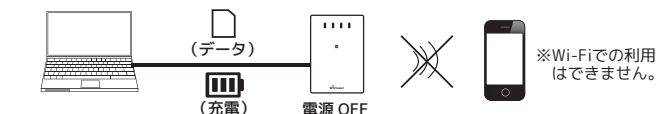
●DLNAサーバーにアクセス制限機能はありません
本製品を公衆回線に接続して使用する場合、同じネットワークに接続する不特定のDLNAプレーヤーがDLNA対象フォルダー内のデータを参照できますので、データを公開しない場合はDLNAサービスをOFF、公開するデータを限定する場合はDLNA対象フォルダーの登録を見直してください。

6. Samba/WebDAVで使用する

本製品はSambaやWebDAVに対応していますので、これらに対応したファイル管理ソフトウェアを使用できます。WebDAVサーバーの共有ディレクトリには「http://10.10.10.254/data/」でアクセスが可能です。
※すべての環境やアプリ/ソフトウェアでの動作は保証できません。

7. パソコンで使用する

●USBカードリーダーとして使用する
本製品の電源をOFFにし、添付USBケーブルでパソコンのUSBポートに接続します。なお、本製品に接続したUSBストレージは使用できません。



●Wi-Fi接続して使用する
Wi-Fi対応パソコンに本製品をWi-Fi設定すると、「FindWiDrawer」を使用してパソコンから本製品のSDカード(またはUSBストレージ)に接続できます。WiDrawerシリーズ検索ツール「FindWiDrawer」は下記アドレスから入手します。
<http://www.ratocsystems.com/products/subpage/wifisd1x.html>
※「ダウンロード」をクリックしてください。



8. WiDrawer2の画面説明

ホーム画面

WiDrawer2にログインすると表示される画面です。



- 【動画】・【写真】・【音楽】・【ドキュメント】**
DLNA 対象フォルダーを設定した場合に使用
※お気に入りの管理やファイル再生・閲覧ができます。
- 【フォルダー】**
ファイルの移動やコピー、ファイル再生・閲覧
- 【設定】**
DLNA サーバーなどの各種設定
- 【インターネット接続】**
点灯(緑)：インターネット接続中
消灯：インターネット未接続
- 【その他】**
SDカード(またはUSBストレージ)の取り外しや写真・連絡先のバックアップ
- 【QR】**
※本製品はQRコード接続に対応していません。
- 【再生中】**
再生中の音楽の停止 / 再生
※音楽を再生するとアイコンが表示されます。
- 【Wi-Fi 接続】**
本製品とスマホの Wi-Fi 接続状態
点灯(緑)：オンライン 消灯：オフライン

フォルダー画面

ファイルのコピー・移動やファイルの再生・閲覧などをエクスプローラー感覚で操作できます。

●フォルダー画面トップ

※例は、SDカードとUSBストレージが見えている状態です。



●フォルダー画面トップ以外

※例は、Pictures フォルダの内容を表示しています。



9. ファイルを再生・閲覧する

※例は動画ファイルの場合です。

① ホーム画面の【フォルダー】をタップ



※ロングタップの場合、ファイルを開くアプリケーションを選択してください。画面は一例です。



② 再生したい動画ファイルをタップ(またはロングタップ)



③ 動画が再生される



10. ファイルやフォルダーをコピーする

ファイルやフォルダーをコピーして、他の場所に貼り付けます。

- iOS では、カメラロールに保存されている写真・動画ファイルのみ、コピーできます。また、カメラロールにフォルダー単位の貼り付けはできません。
- 1フォルダ内のファイル数の上限は1000個です。ファイル数が多くなると情報取得するための処理が重くなるため読み込みが安定せず、開けなくなる場合があります。

① ホーム画面の【フォルダー】をタップ

② コピーしたいファイルやフォルダーを選択し、**【操作】**をタップ



③ コピー (コピー)をタップ

※ファイルやフォルダーを移動する場合は、**【切り取り】**(切り取り)をタップします。

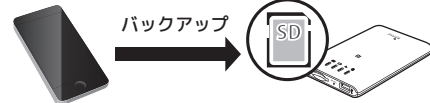
④ 貼り付け先のフォルダーに移動

⑤ **【操作】** (操作)をタップ

⑥ 貼り付け (貼り付け)をタップ

11. 写真(動画)または連絡先をバックアップする

本製品に装着したSDカード(またはUSBストレージ)にバックアップします。



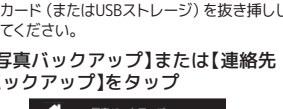
① 画面左下の**【その他】**(その他)をタップ



② **【バックアップ】**をタップ

※バックアップをタップできないときは、SDカード(またはUSBストレージ)を抜き差ししてください。

③ **【写真バックアップ】**または**【連絡先バックアップ】**をタップ



④ **【バックアップ開始】**をタップ

⑤ 確認メッセージで**【OK】**をタップ

※バックアップ完了まで、画面はそのままお待ちください。中止したいときは**【バックアップの中止】**をタップしてください。

⑥ バックアップ完了メッセージで**【OK】**をタップ

●バックアップデータの保存場所

SDカード(またはUSBストレージ)内の下記フォルダーに保存されます。
※SDカードとUSBストレージの両方を接続しているときはSDカードに保存されます。

写真 …[Backup]-[PhoneBackup]-[Pictures]
動画 …[Backup]-[PhoneBackup]-[Videos]
連絡先 …[Backup]-[ContactsBackup]

●連絡先バックアップの保持数(10ファイル)

バックアップをとった日時でファイルが1つ作成され、最近の10ファイルまで保持されます。10ファイルを超えた場合、日付の古いものから自動的に削除されます。



初めてバックアップ開始をタップしたが、「バックアップに成功しました。：0ファイル」と表示される

iOS側のプライバシー設定を次の手順で変更し、再度バックアップしてください。
【設定】→【プライバシー】→【写真】→【WiDrawer2】をON

写真バックアップの対象となるデータについて

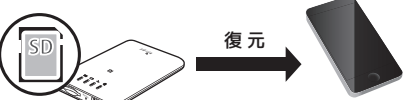
<iOS>【写真】アプリのカメラロール・アルバム
<Android>DCIMフォルダー(スマホ標準カメラで撮影したときの保存先)

もう一度、写真のバックアップをとったときは?

SDカード(またはUSBストレージ)に前回のデータが有る状態でバックアップをとった場合は、変更データのみが追加されるため、バックアップ時間を節約できます。

12. 連絡先を復元する

(移行先の)スマホにデータを復元します。

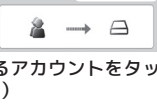


① 画面左下の**【その他】**(その他)をタップ

② **【バックアップ】**をタップ

③ **【連絡先バックアップ】**をタップ

④ **【復元の開始】**をタップ



⑤ 連絡先を復元するアカウントをタップ(Androidのみ)

⑥ 使用するバックアップファイルをタップ

※「YYYYMMDDhhmmss_」末尾「.vcf」でバックアップファイル名が表示されます。

⑦ 確認メッセージで**【OK】**をタップ

⑧ 完了メッセージで**【OK】**をタップ



Androidで使用する場合の注意
連絡先データはAndroid機種や端末メーカーやアプリごとにカスタマイズされているため、異なる端末間でバックアップや復元をおこなうと、一部が復元されない、または項目や表示順序が異なる場合があります。

安全にお使いいただくために

⚠警告…人が死亡するまたは重傷を負う可能性が想定されます。

- 製品の分解や改造等は、絶対におこなわないでください。
- 無理に曲げる、落とす、傷つける、上に重いものを載せることはおこなわないでください。
- 火の中に入れて、加熱、高温での充電・使用・放置をしないでください。発熱や発火、破裂の原因になります。
- 製品が水・薬品・油等の液体によって濡れた場合、ショートによる火災や感電の恐れがあるため使用しないでください。
- 充電式電池の液が漏れたときは、液に触れないでください。万一、皮膚や衣服についたときは、すぐにきれいな水で洗い流し、医師に相談してください。液が目に入ったときは失明の恐れがありますので、すぐにきれいな水で洗い、医師の診療を受けてください。
- 本製品から煙が出る、異臭や音が出るなどの異常が発生したときは、ただちに電源を切り、すべての接続ケーブルを抜いたあと、弊社サポートセンターにご連絡ください。

⚠注意…人が負傷を負う可能性および物的損害が想定されます。

- 本製品は電子機器ですので、静電気を与えないでください。
- 高温多湿の場所、温度差の激しい場所、チリやほこりの多い場所、振動や衝撃の加わる場所、強い磁気を帯びたものの近くでの使用・保管は避けてください。
- 本製品(ソフトウェアを含む)は日本国内仕様です。日本国外で使用された場合の責任は負いかねます。
- 本製品は、医療機器、原子力機器、航空宇宙機器、輸送機器など人命に関わる設備や機器、および高度信頼性を必要とする設備、機器での使用は意図されておりません。これらの設備、機器制御システムに本製品を使用し、本製品の故障により人身事故、火災事故などが発生した場合、いかなる責任も負いかねます。
- 記録を誤ったことによる損失、逸失利益等が発生した場合でも、いかなる責任も負いかねます。

電波に関する注意

本製品は2.4GHz帯の電波を利用しており、この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場での製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)及び特定小電力無線局(免許を要しない無線局)並びにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

- 1.本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことをご確認ください。
- 2.万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止した上、下記連絡先にご連絡頂き、混信回避のための処置等(例えば、パーティションの設置など)についてご相談ください。
- 3.その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、次の連絡先へお問い合わせください。

(連絡先) ラトックシステム サポートセンター
大阪：06-6633-0190 東京：03-5207-6410
https://web1.ratocsystems.com/mail/support.html

2.4DS/OF5

<現品表示内容の意味>
2.4 … 2.4GHz帯を使用する無線線を表す。
DS/OF … 変調方式がDS-SS方式またはOFDM方式であることを表す。
5 … 想定される与干渉距離が50m以内であることを表す。
□□□□ … 全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する。

セキュリティに関する注意

無線LANでは、LANケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコンなどと無線LANアクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続が可能であるという利点があります。その反面、電波はある範囲内であれば障害物(壁など)を超えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

①通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、IDやパスワードまたはクレジットカード番号などの個人情報、メールの内容などの通信内容を盗み見られる可能性があります。

②不正に侵入される

悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、個人情報や機密情報を取り出す(情報漏洩)、特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す(なりすまし)、傍受した通信内容を書き換えて発信する(改ざん)、コンピュータウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する(破壊)などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線LAN製品は、セキュリティに関する仕組みを持っているので、その設定を行って製品を使用することで、上記問題が発生する可能性は少なくなります。セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することを推奨します。

社団法人 電子情報技術産業協会 (JEITA)
「無線LANのセキュリティに関する注意事項」より

充電式電池の取り扱い

本製品はリチウムイオン電池を内蔵しています。危険ですのでリチウムイオン電池をお客様で取り外さないでください。
(本製品の処分方法について)
リチウムイオン電池はリサイクル可能な資源です。本製品を廃棄する場合は分解せず、お住まいの自治体の条例または規則に従ってください。

商標

- WiDrawerはラトックシステム株式会社の登録商標です。
- iPhone、iPad、iPad Air、iPad mini、iPod touch、Apple、Mac、OSは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。iPhoneの商標は、Apple Inc.のライセンスのもとで表示されています。
- App Storeは、Apple Inc.のサービスマークです。
- iOSは、Ciscoの米国およびその他の国における商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- Google、Android、Google Playは、Google Inc.の商標または登録商標です。
- Microsoft、Windowsは、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- Wi-FiはWi-Fi Allianceの登録商標です。
- DLNAはDigital Living Network Allianceの商標または登録商標です。
- マークはIFCC Forum, Inc.の米国およびその他の国における商標あるいは登録商標です。
- 本製品および本誌に記載されている会社名および製品名は、各社商標または登録商標です。ただし本文中にはRおよびTMマークは明記していません。
- “REX”は株式会社リコーが商標権を所有していますが、弊社は使用許諾契約により本商標の使用を認められています。

お問い合わせ

ご提供いただいたお客様の個人情報は、サポート目的のみに使用し、他の目的には使用しません。弊社の個人情報取り扱いに関する詳細は、弊社ホームページをご覧ください。
http://www.ratocsystems.com/info/privacy.html

①本製品に関するお問い合わせ

本製品に関するお問い合わせは、下記までお問い合わせください。お問い合わせの際は、ご使用の環境や症状をできる限り具体的にお知らせください。ご質問に対する回答は、下記の営業時間内となります。ご質問の内容によりましては、弊社でのテスト・チェック等の関係上、回答までに時間を要する場合もございますので、あらかじめご了承ください。

ラトックシステム株式会社 サポートセンター

TEL 大阪:06-6633-0190 東京:03-5207-6410
FAX 06-6633-3553 (FAXは24時間受付)
http://www.ratocsystems.com/ (ホームページでご質問も入力できます)

〒556-0012 大阪市浪速区敷津東1-6-14 朝日なんばビル
営業時間 月～金 10時～13時、14時～17時 土・日・祝・弊社指定休日除く

②修理

万一故障した場合は、本製品に添付の保証書記載内容に基づいて修理いたします。故障と思われる症状が発生した場合は、まず本紙を参照し、接続や設定が正しくおこなわれているかどうかご確認ください。現象が改善されない場合は、弊社ホームページの上記アドレス「修理について」を参照し、弊社修理センター宛に製品をお送りください。なお、修理は部品修理ではなく、交換対応となることをご了承ください。修理に関してご不明な点がありましたら、弊社サポートセンターまでご相談ください。
http://www.ratocsystems.com/services/repair/contents.html

一般仕様

名称	Wi-Fi SDカードリーダー
型番	REX-WIFISD1X
対応SDカード	SD、SDHC、SDXC(256GBまで動作確認済)
対応USB機器	USBフラッシュメモリ・USBハードディスク(2TBまで)
対応フォーマット	FAT16、FAT32、NTFS、exFAT
インターフェイス	USB2.0(High Speed)、Ethernet(100Mbps)
本体への充電時間	Apple 12W USB電源アダプター(2.1A) : 約2.5時間 Apple 5W USB電源アダプター(1A) : 約4時間 その他500mA ACアダプターまたはパソコン : 約7時間 ※弊社テストによる目安です。
充電電池容量	3,000mAh リチウムイオンポリマー
使用時間	約9時間 ※使用方法・環境により短くなる場合があります。
Wi-Fi同時接続台数	5台まで
Wi-Fi無線仕様	IEEE 802.11 b/g/n (2.4GHz)
電波範囲	50m(見通し) ※使用環境により異なります。
セキュリティ	WPA、WPA2、WPA&WPA2暗号化方式
接続コネクタ	本体充電用 / パソコン接続用 x1 (USB Micro-B) スマートフォンへの充電用 / USBストレージ接続用 x1 (USB標準A)
DLNA	DMS
NFC	アプリのインストールとWi-Fi設定(初回時) アプリの起動とWi-Fi接続(次回以降)
電源電圧	【入力】DC+5V 500mA/1A/2.1A 【出力】DC+5V 1A Max
消費電流	Typ.550mA
動作環境	温度：5～35℃ 湿度：20～80%(ただし結露しないこと)
外形寸法	約118x79x14mm(LxWxH)突起部含まず
重量/ケース材質	約120g(本体のみ) / ABS
対応機種	iOS7.0以降のiPhone、iPad、iPad Air、iPad mini、iPod touch Android 4.0以降のスマートフォン、タブレット Windows PC、Mac
対応OS	パソコン接続時)Windows 8.1/8/7/Vista、Mac OS X10.6以降
ソフトウェア	App Store、Google PlayストアよりWiDrawer 2を無償ダウンロード ※旧版のWiDrawerは、サポート対象外となります。
対応ファイル形式	iOS Android
※対応ファイルは、使用する端末にインストールされているアプリに依存します。	
オーディオ	aac、aif、m4a、mp3、wav aac、flac、m4a、mp3、ogg、wav
ビデオ	m4v、mov、mp4、mpeg、wmv、3gp、avi m4v、mov、mp4、flv、mkv、wmv、3gp、avi、m2ts、mpg、vob
※全てのファイルの再生を保証するものではありません。	
写真	jpg、png、bmp、gif、tif jpg、png、bmp、gif
ドキュメント	xls、xlsx、doc、docx、ppt、pptx、pdf、txt
保証期間	1年

※本製品にSDカードは添付していません。
※本製品にACアダプターは添付していません。お使いのスマートフォン/タブレットのACアダプターをご使用ください。
※充電電池の交換はできません。充電容量の劣化の目安としては、約300回の充電の後、初期の容量の80%程度となります。
※パソコンにUSB接続しているときは、スマートフォン/タブレットとのWi-Fi接続およびUSBストレージの使用はできません。
※SDカードのUHS-I規格には対応していませんが、通常のメモリーカードとしての使用は問題ありません。
※DLNAで公開可能なファイル数の制限は、10,000ファイルまでとなります。DLNA対象フォルダーに指定したフォルダー以下のファイルすべてを含みます(DLNA対象ファイル<動画・写真・音楽・ドキュメント以外も含む>)。

※本製品は日本国内仕様となっており、海外での保守、およびサポートはおこなっておりません。
※製品改良のため、予告なく外観または仕様の一部を変更することがあります。
※本製品の保証や修理に関しては、添付の保証書に記載されています。必ず内容をご確認の上、大切に保管してください。
※本紙の内容に関しましては、将来予告なしに変更することがあります。
※本紙の内容につきましては、完全な期して作成しておりますが、万一ご不審な点や誤りなどお気づきの点がございましたらご連絡ください。また、お問い合わせいたします。
※本製品の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、いかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。